

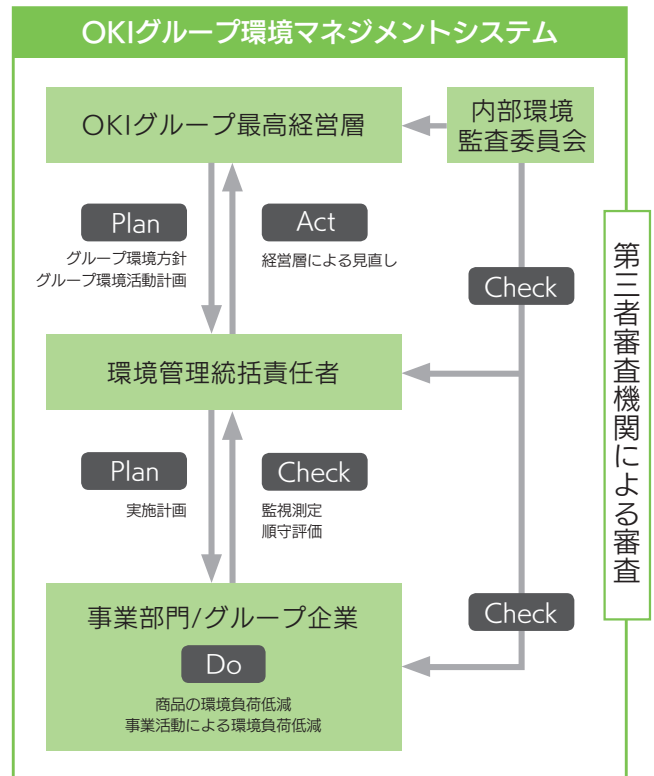
環境への対応

OKIグループは「環境ビジョン2020」を2012年に策定し、「低炭素社会の実現」「汚染の予防」「資源循環」「生物多様性保全」の4分野で2020年の目標を定めています。この目標の達成に向け、環境マネジメントシステムのPDCAサイクルを確実に実行し、環境パフォーマンスと運用システムの継続的な改善に取り組んでいます。

OKIグループは今後も、環境に関する各種法規制を順守するとともに、お客様やステークホルダーの皆様からのご要望に積極的に応えてまいります。

OKIグループ環境ビジョン2020

- 1. 低炭素社会の実現**
事業活動におけるエネルギーの消費効率を最大化し、エネルギー使用量を2012年度比名目売上高原単位8%低減する。(実質売上高原単位12%低減に相当) また、環境配慮型製品/サービスを継続的に提供することにより低炭素社会の実現に貢献する。
- 2. 汚染の予防**
人の健康や環境に影響のある化学物質の大気、水系等への排出量を2012年度比名目売上高原単位8%低減する。(実質売上高原単位15.5%低減に相当)
- 3. 資源循環**
使用済み製品のリサイクル処理量を2012年度比25%増加させる。また、廃棄物のリサイクル処理拡大、生産時の投入材料削減、環境配慮設計の推進により、新規投入資源を最小化する。
- 4. 生物多様性保全**
地球温暖化防止、化学物質による大気や水系等の汚染の予防、リサイクル処理の拡大や新規投入資源の最小化により、生物多様性の保全と持続可能な利用に取り組む。



OKIグループの主な環境活動計画(2014年度)目標と実績

	環境ビジョンの該当テーマなど	活動項目	2016 年度目標	2014 年度目標	2014 年実績	
					結果	評価
事業活動	低炭素社会の実現	エネルギー消費効率の向上 計画的な設備更新、 運用改善など	原単位*1 -4%以上 (2012年度比)	原単位 -2% (2012年度比)	原単位 -13% (2012年度比)	○
	汚染の予防	有害化学物質の排出量削減 (大気、水系)	原単位*2 -4%以上 (2012年度比)	原単位 -2% (2012年度比)	原単位 -7% (2012年度比)	○
商品	低炭素社会の実現	低消費電力商品の創出 によるCO ₂ 排出抑制	省電力効果50%以上(従来比)の 商品開発 5件以上	新規登録 5件:[OKIエコプロダクツ・ プラス]レベル以上 (=省電力効果25%以上)	新規登録5件(プリンター)を 含む省電力商品7件 開発完了	○
	汚染の予防	製品含有化学物質関連の 各種規制への適合性向上 などによる順法確保	新化学物質調査票での 運用開始による順法確保	法改正情報の反映による順法確保 -管理手順書 -化学物質管理システム	法改正情報など (改正RoHS指令/包装材指令) の反映完了により順法確保	○
	資源循環	産業廃棄物広域認定制度の 取扱量拡大 (適正処理とリサイクル推進)	前年度実績+100トン	4,200トン	2,400トン (認定拡大の申請調整による影響)	×
共通	生物多様性保全	生態系サービスに対する 影響度の低減	低炭素社会の実現/汚染の予防/ 資源循環の継続的な推進	低炭素社会の実現/汚染の予防/ 資源循環の2014年度目標の達成 (上記参照)	低炭素社会の実現:目標達成 汚染の予防:目標達成 資源循環:未達成(上記参照)	△
	順法監査および 教育訓練	順法監査実施 <目的> -法令順守状況の確認 -環境事故の防止 教育訓練の実施 <目的> -環境管理活動の有効性向上	監査対象法令拡大 (エネルギー関連など) 有効性評価に基づく教育の実施 (法令別教育、環境事務局養成講座、 製品化学物質研修など)	廃棄物処理委託先現地確認/ 改正水濁法対応 社内ニーズに基づく教育の実施 (法令別教育、環境事務局養成講座、 製品化学物質研修など)	違反は確認されず (管理レベル向上を目的とした 改善意見のフォローアップ完了) 社内ニーズの高い「廃掃法」など 専門教育7講座を実施 理解度(廃掃法講座) 目標:90 ポイント⇒実績:93ポイント	○

*1 エネルギー使用量(原油換算値:kl)/連結売上高(億円) *2 化学物質排出量(t)/連結生産高(億円)

環境への対応

事業活動における環境負荷低減の取り組み

OKIグループの各拠点では、「低炭素社会の実現」に貢献するさまざまな省エネルギー活動を推進しています。

● プロセス刷新で環境負荷低減と品質向上を両立

OKIグループのプリント基板事業会社であるOKIサーキットテクノロジーは、プリント基板製造における中核工程のひとつである“回路パターンの描画工程”を刷新しました。従来は素材板の非露光部分にマスク掛けを行ってから回路パターンを露光し、これを現像することで回路パターンを生成していましたが、素材板上にレーザー光で直に回路パターンを描画する「直接描画方式」を導入し、製造工程を大幅に削減しました。

この結果、より微細で高度な基板の製造が可能となったことに加え、生産性の大幅な向上と装置台数の削減(3台減)によって、年間40MWhの使用電力削減が可能となりました。さらにはマスク掛けに必要な薬液も廃止することができ、省エネルギー、省資源を大きく前進させました。

● 物流における環境負荷低減の取り組み

OKIの物流事業を担うOKIプロサーブでは、輸送時のCO₂排出量を削減するため、モーダルシフトに早期から取り組んできたほか、運送情報をデータベース化して、省エネルギー法で要求されるデータを集計しています。2014年度のモーダルシフトによるCO₂排出削減量は前年度を下回り、輸送活動全体でのCO₂排出量は、遠距離輸送の減少などにより、前年度比22%減の5,099t-CO₂となりました。

● 温暖化防止推進部会による省エネルギー活動の推進

OKIグループは、「環境ビジョン2020」で掲げる「低炭素社会の実現」の目標達成に向けて、中長期の省エネルギー計画を策定し取り組んでいます。この計画を確実に実行するため、グループ企業を含めた「温暖化防止推進部会」を設置し、グループ全体で省エネルギー活動を効果的に推進しています。

この部会は、「順法性」「共通化」「事例共有」の3点を活動の柱としています。グループ全体の順法性を確保するため各社の順守状況を相互に確認するとともに、省エネルギー活動の管理や監視の手順など、グループ共通の運用については、全社基準として共有しています。また工場、オフィスなど各事業場の特性に応じた有効な施策や事例を共有・展開することで、各拠点の省エネルギー活動に効果を上げています。



温暖化防止推進部会(2015年5月)

TOPICS タイで「産業廃棄物適正処理促進プロジェクト」プラチナ賞を受賞

タイのドットプリンター用印字ヘッド生産拠点であるOKIプレジジョン・タイランド(OPNT)は、2014年8月、「タイ工業団地内の工場産業廃棄物・生ゴミの適正処理促進プロジェクト」の最高賞であるプラチナ賞を受賞しました。

同プロジェクトは、タイ工業省が北部・東部・中部の3つの工業団地内の企業を対象に、3Rs(Reduce, Reuse&Recycle)の考えに基づき産業廃棄物の適正処理を促進する目的で発足したもので、趣旨に賛同し参加した企業は事務局による資料審査と視察調査を受けます。

OPNTはプロジェクトに積極的に参加し、4か月にわたる審査の結果、防錆液体使用料の削減、バレル工程の排水の浄化と再利用、再生機によるはんだ屑の再利用処理などの継続的な取り組みが高く評価されて、受賞に至ったものです。



表彰状を授与されるOPNT 西野取締役

環境汚染などへの対応

【地下水汚染、土壌汚染】

OKIグループでは、事業場に観測井戸を設置し、地下水の監視を実施しています。2012年度の土地取引にあたり調査した結果、埼玉県蕨市のOKIシステムセンターに土壌・地下水の環境汚染があることが判明しました。行政へ報告するとともに、土壌の飛散や地下水へ拡散しないよう適切に対応しています。

【環境事故、クレームなど】

2014年度、環境に係る事故や重大なクレームは発生しておりません。これらの事象が発生した場合は、影響を緩和する処置を行うとともに、是正予防処置のルールに従い原因を究明して再発防止策を実施します。さらに、外部コミュニケーションのルールに従い、適切な開示を実施します。

OKIグループの環境活動に関する詳細は、「環境報告書」およびウェブサイトでご報告しています。「環境報告書」では、特長ある技術を活かした「低炭素社会の実現」への取り組み例を特集しているほか、商品・事業活動における環境負荷低減のためのさまざまな取り組みや、マテリアルバランス、環境会計などのデータを掲載しています。ぜひご覧ください。

ウェブサイト「環境への取り組み」：
<http://www.oki.com/jp/eco/>

